

<ぼうさいこくたい（防災推進国民大会 2017）>

開催日：平成 29 年 11 月 26 日（日）、27 日（月）

主 催：防災推進国民大会 2017 実行委員会

（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）

「ぼうさいこくたい（防災推進国民大会 2017）」が 11 月 26 日（日）、27 日（月）の 2 日間、仙台国際センターにて開催されました。今回は、「世界防災フォーラム」「防災産業展 in 仙台」と同時開催され多くの国々の防災関係者が一堂に会した大会となりました。（写真-1）

昨年度より開催された本大会は、防災に取り組む様々な団体が集結し、だれもが参加できる総合防災イベントとして、今年度は東日本大震災を体感した仙台市に会場を移し、復興への取り組みや教訓を踏まえた未来の防災都市づくりなど被災地ならではの開催内容となりました。

会場は、両日とも天気に恵まれ、会議棟・展示棟・屋外展示では多種多様なイベントが開催され防災情報の発信力を高めておりました。特に初日は日曜日ということもあり、屋外でのイベントや展示、炊き出し体験やフードコートなどの出展も行われ、大勢の家族連れで賑わい、子供たちも防災を身近に感じる機会を得ることができたようです。

会議棟では、オープニングセレモニーで、小此木八郎内閣府特命担当大臣（防災）より開会宣言がなされ、「世界防災フォーラム」と並行し、各会場で様々なセッションが行われました。

展示棟では、「防災産業展 in 仙台」が行われる傍ら、多くの団体による展示ブースが設けられました。（写真-2）今年度は東日本大震災からの復興をテーマにした出展が多く見られました。また、東北地方の大学・高校による学生ボランティアの活躍を紹介した展示も多く見られました。

REIC は、今年 9 月に発足した「ハザード・リスク実験コンソーシアム」と、「緊急津波避難情報システム」の展示を行いました（写真-3）。「ハザード・リスク実験コンソーシアム」については、民間企業の来場者から多くの質問をいただき、実験参加方法などの詳細を紹介しました。「緊急津波避難情報システム」については、地域での防災活動に取り組む来場者からも関心を寄せられ、地域コミュニティでの避難訓練にも応用できることを紹介しました。

クロージングセッションでは、国立研究開発法人防災科学技術研究所 林春男理事長による総括が行われ、産学官および住民らと連携し、防災情報の連携・共有を進める提言がされました。

（写真-4）来年度の「ぼうさいこくたい」は、東京で開催される予定です。



写真-1：仙台国際センター 会場入口



写真-2：展示棟 各団体出展ブース



写真-3：REIC 出展ブース



写真-4：クロージングセッション